

お菓子缶が喜ばれる理由

ここ数年、世の中にクッキー缶をはじめとした缶入りお菓子が増えています。なぜ今お菓子缶ブームが起きているのか？実際に全国各地で缶入りお菓子を製造販売するお菓子屋さんのお話を伺いながら、その理由に迫ってみたいと思います。

1



Café de Zaza (札幌市)

ブーケ缶に入れてる「お花のジャムクッキー」は”缶のデザインが花、開けても花”というのがウケている理由の1つだと思います。それともう一つ大事なことは、このクッキーは生地がすごく脆いので元々袋に入れて販売できないお菓子で、お菓子缶を使っていなかったら商品化できなかったということです。

2



TamaMille (千葉県八千代市)

オープン時にミロワールというお菓子を塩ビケースに入れて販売していたのですが、なかなか伝わりづらいお菓子だったようで、日持ちもあまり良くなかったので販売をやめてしまったんです。8年程前にエンジェル缶と出会い、缶を見た瞬間ミロワールを入れて復活させよう決めました。ちょうどその直後TV番組に取り上げられたこともあり、当時は毎日製造が追いつかないほどでした。

3



HAPPY SUGAR (新潟県村上市)

自分のパティシエ人生で、お菓子を見れば「あの人のお菓子だ！」ってわかるものを作りたいという目標があり、作るなら長く作ってるチーズケーキの缶かなって思いました。専用でギフト袋も一緒に作ったので高いけど、3,500円のチーズケーキを人にプレゼントできる人って、気持ちに余裕のあるお客様だなって思うし「これが売れば今日の営業は安心」ってくらい高い商品がいくつかあるとお客様の層も自然と変わってくると思ってたので、どうしても作りたかった缶でした。

全国各地の洋菓子店さんでお菓子の缶が活用されていますが、見た目の美しさ、中身を守る丈夫さ、そしてオリジナル缶に関しては、お菓子を食べ終わった後にも購入者の手元に残り、お店とのつながりを保ち続けるという部分が喜ばれているようです。単なる”スチール製の箱”ではなく、お菓子缶にはたくさんの「人に喜ばれる特長」があるのだと思います。

大阪製罐株式会社 清水雄一郎